

雪がた

—— 豊科病院だより ——



豊科病院広報誌
令和 5年11月 1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
Tel : 0263-72-8400
URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

特集 退院された方の声 ①

今夏、当院精神科に入院されて

いる一人の70代の患者さんから、
本誌の編集者に以下の「提案をい
ただきました。

その患者さんは 私は豊科病院
に何度も入院し、これまで長い入
院もあつたけど、今は地域で一人
で生活できている。私のような退
院した患者さんが、地域でどんな
生活をしているのか、豊科病院の
広報誌に載せて紹介してほしい
と希望されました。

そこで、5回の特集を組み、退院
された方々の地域生活をご紹介
したいと思います。第1回はご提
案された70代の患者さんではな
く、通院されている50代の患者さ
んへのインタビューを掲載しま
す。

なお、インタビューさせていた
だいたそれぞれ患者さんから、本
誌へコメントを掲載する承諾を得
ております。

通院患者Qさんへのインタビュー

Q…近年の受診歴は？

A…精神科の急性期の病院に2ヶ
月位入院して、その後、豊科病院に
転院しました。豊科病院には2年と
数ヶ月入院していて、最初の1年間
は退院が可能な状態になるまで治
療を受け、後半1年間は病棟で細か
な塗り絵をしながら、グループホー
ムを探していました。

Q…どのように退院を？

A…入院中にグループホームを見
学したところ、運良く自分に合う所
が見つかったので、退院してグルー
プホームに入居し、今は外来受診を
続けています。本当は、自宅で一人
暮らしをすることが第一希望でし
たが、主治医の意見
もあり、自宅ではな
くグループホームへ
入居することに同
意しました。



Q…グループホームはどうですか？

A…思っていたよりも居心地が良く、快適で満足しています。共同生活は人間関係が心配でしたが、人間関係に恵まれている環境です。また、世話人さんが親身になって色々やってくれるので安心です。特に、グループホームの良さは、孤独にならないことと、朝と夕にバランスの良い食事が食べられることです。今となつては、退院先は自宅ではなく、グループホームで良かったと思っています。



Q…日中は何をされていますか？

A…2週間に1回通院しています。そして、退院後は、デイケア(精神科)に通4回通っています。デイケアでは、カラオケ、料理、歩行や筋肉のリハビリも積極的にやっています。昼食を食べられることも助かります。とにかく、仕事のようには苦痛ではないし、イヤイヤ通ってはいません。デイケアをお休みの日は、お墓参りに行ったり、自由に時間を使っています。

Q…今後はどのような生活をする？

A…今のところ、出来過ぎじゃないかと自分で

は思っています。今はデイケアに通って、生活が安定してきたら、仕事をしたいと思っています。

Q…本誌を通じて、他の患者さんに伝えたいことは？

A…2年間も入院していたけど、自分は自分にあった生活の場所が見つかりました。再び自由な生活が始まりました。色々な事情で入院していると思っけど、辛いことはかりじゃない、と他の患者さんに伝えたいです。

院内の畑 予想以上の収穫

作業療法では、5月から小集団での園芸グループを実施し、院内の畑で、サツマイモや野菜を育ててきました。

夏が過ぎ、10月にはサツマイモの収穫も行い、予想以上にたくさんサツマイモを収穫することができました。患者さんも「かなり豊作だね」という発言



収穫されたサツマイモの一部

AED 久々の実践研修

をされるなど、大きさも量も満足のいく結果となりました。

11月初旬はサツマイモを乾燥させているところです。今後、調理方法を決めて実食もしていく予定です。患者さんの中には「食べる日」が待ち遠しいと楽しみにされている方も多いようです。

9月20・27日、日本光電機の職員の方を講師に迎え、職員を対象にAED(自動体外除細動器)の研修を行いました。近年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、院内における実践的な研修を控えておりましたが、新型「コロナ」が5類になったことを受け、久々に実践研修を行いました(写真)。



AEDを使用し研修する職員

ウンスに従い操作しますので、どなたでも扱えるようになっていきます。

その操作は、①倒れている方の周囲の安全の確認、②意識があるかを確認、③周囲の人に119番通報を依頼、④周囲の人にAEDの準備を要請、⑤呼吸の確認、⑥AEDが届くまで胸骨圧迫を続ける、⑦AEDでの電気ショック、⑧救急隊に引き継ぐまで、再び胸部圧迫など蘇生を続ける、という手順になります。

研修会に参加した職員全員が実践形式で訓練を行い、AEDの使用方法和心肺蘇生の方法を学びました。

当院はAEDを内科外来待合 廊下に設置しております。

文化祭開催

10月、季節の行事の一環として、文化祭が開かれました。近年は「コナ禍」の影響もあり各病棟毎に作品を展示していましたが、新型「コナ」が5類になったことを受け、今年は全病棟の作品を、1階の一室に集めて展示しました。

作品は、作業療法の制作の時間に作られた塗り絵、絵手紙、習字の3部門。出展された作品総数はなんと150作品以上あり壮観でした。

また、文化祭へ入場された方々には、優秀な作品に投票していただきましたが、力作が多く、投票の際は時間をかけて悩まれる方もいらっしゃいました。



入院患者さんの作品の数々

来場者からは「綺麗に展示されてうれしい」「こんなにあってはすごい」と声があり、職員も含め皆さま関心

高く鑑賞されていました。

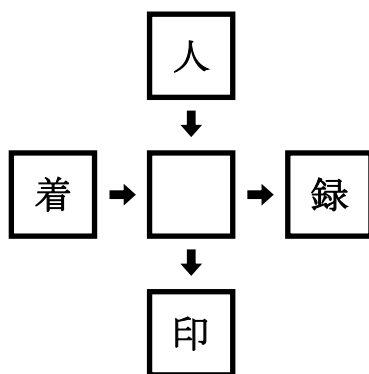
また、塗り絵などの作品以外にも、園芸活動のポスターも展示されており、様々な作業療法の活動を紹介する良い機会になりました。

頭の体操

いかがですか？



真ん中の□に当てはまる漢字を答え、4つの二字の熟語を完成させてください。



※答えは最終ページ、編集後記の下にあります。

関連施設だより

グループホーム 秋の小旅行

10月26日、グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘の入居者の皆さんが、軽井沢へ、秋の合同小旅行に出かけられました。この旅行は、グループホームの入居者の方々が輪番で幹事となり、企画運営される行事です。

行程は、豊科から三才山トンネルを通過し、丸

子を抜けて東御市へ。雷電の道の駅で休憩し、軽井沢のアウトレットモールに到着。フードコートで食事をしたり、買い物したり。次いで、軽井沢の街をドライブしながら、白糸の滝へ。帰りは高速道路で安曇野へ戻りました。



白糸の滝



アウトレットモール

外来 医師担当表

令和5年11月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	休 診	休 診	休 診	こまつ まさみち 小松 雅宙 医師	休 診	休 診
精神科①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	こみ ぶち みつなり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	こみ ぶち みつなり 五味洸 満徳 医師
精神科②	かわぶち まさる 川淵 優 医師	なかむら ち え み 中村 千恵美 医師			なかむら ち え み 中村 千恵美 医師	

◎ 受付時間 午前 7:00～正午

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点は受付へご確認ください。

お問い合わせ先…Tel.0263-72-8400



～ 編集後記 ～

去る10月29日の早朝に決勝戦が行われた「ラグビーワールドカップ(以下W杯)」。今回で10回目となったフランス大会では、熱い戦いが約2か月にわたり繰り広げられました(ちなみに4年前は日本でした)。

100kg以上の巨体がぶつかり合いながら走り抜ける様は圧巻そのもの。また、圧倒的に南半球が強いのも七不思議の一つ。北半球はイングランドが一度優勝したのみです。他の競技に比べ、ややルールが複雑なのが難点ですが、次季は世界のトップスターの多くが日本リーグのチームに入ってプレーします。機会があれば是非一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

「目」： 最回の審判の顔

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。